

死ぬ間際だった少女を救ったなどのいくつかの奇跡を起こしたことがある。不幸な女性たちの守護聖女であるとともに、治癒不可能な病からの救済を行ってくれると信じられ、絶望した時に名前を呼ばれる最後の頼みの綱なのだ。

天然痘や不可能な病から救ってくれるとはいえ、知名度において他には劣るこの聖女が第一位の座に輝いたのは、この調査が行われた二〇二〇年の八月には、イタリアでもフランスでも、まだワクチンの見通しもたつておらず、まさに人々は絶望的な気持ちだったからなのかもしれないと説明されている。

しかし、私自身はこの聖女が頭にキリストの荊の冠の棘を受けたということが関係しているのではないかと思う。その形状から冠コロナという名のついたコロナウイルスに怯える人々がキリストの冠コロナの棘で自身が傷つきながらも神に仕え、献身的に人々に尽くしたこの聖女の中に医療従事者の方々の姿を見たことで、改めて聖リータが注目されたのではないだろうか。

南米からヨーロッパに渡ってきた植物の中にパッションフラワー (*Passiflora caerulea*) がある<sup>(16)</sup>。日本のトケイソウという名は、三つ



16 カッシャの聖リータ (聖リータの棺に描かれた肖像 1457年 カッシャ、聖アウグスチノ女子修道院)



14 額に十字架上のキリストの荊の冠の棘を受ける聖リータ (1911年 ローマ、サンタ・リータ・ダ・カッシャ・アッレ・ヴェルジニ教会)



16 パッションフルーツ



15 正面から見たトケイソウ